

バッグジャッキ

TLB形

取扱説明書

『取扱説明書をよく読み、内容を理解してからご使用下さい。
また、取扱説明書はいつでも読めるよう保管して下さい。』

株式会社 大阪ジャッキ製作所

FILE No. TLB-MN-J

'22.6.22

1. バッグジャッキについて

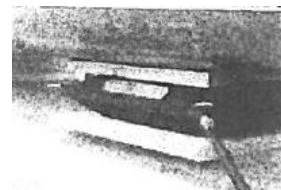
バッグジャッキは能力10 kN～670 kN、膨張時最大高さ80 mm～520 mmの8種類があります。このバッグジャッキは高品質のゴムにアラミド繊維の補強材を何層にも重ねて作られています。最高使用圧力は0.8 MPaです。隙間での使用に適しており、重量物の持ち上げや土木工事用、またはレスキュー用としても使用いただけます。

2. ⚠ 警告

この取扱説明書で全ての状況をカバーすることはできません。
常に安全第一に心がけて作業を行なって下さい。

◎ 使用上の注意

- a) 最高使用圧力は0.8 MPaです。エア源の圧力に注意して下さい。
- b) 高さ調整用スペーサはバッグジャッキの下に敷いてください。
但し、扛上物の滑りには十分注意し、滑りやすい金属等の上にバッグジャッキを置かないで下さい。
持ち上げ中に対象物が崩れることがあり、危険です。
また、バッグジャッキと扛上物との間には高さ調整用のスペーサを挟まないでください。
- c) 扛上物に鋭利な角や突起物があるとバッグジャッキを傷めます。バッグジャッキよりも大きな当て物を挿入し、バッグジャッキに直接鋭利な角や突起物を触れさせないでください。
- d) バッグジャッキを2枚重ねて使用するときは、大きい方を下に敷き、大きい方を先に膨らませて下さい。ジャッキはバランス良く配置し、持ち上げ中に扛上物が崩れないよう注意してください。
- e) バッグジャッキを2枚超えての重ね使用は危険です。
- f) バッグジャッキを膨らませている時は、バッグジャッキに近づかないで下さい。
また、バッグジャッキだけで支えられている扛上物(荷重)の下には入らないで下さい。
- g) 持ち上げ後は安全のため、速やかに木材、ブロック、鋼材等で扛上物を支えてください。
- h) 急激にエアを送ると対象物のバランスが崩れる危険があります。周囲の状況を確認しながら、徐々に膨らませてください。
- i) 作業中はバッグジャッキとの距離を保ち、安全を確保してください。
- j) 接触相手面は常に減圧状態のバッグジャッキ面よりも大きくして下さい。
必要に応じて両側に支えとなる(滑りのない)面や木製板を使用して下さい。
バッグジャッキが滑らない様に、また、金属部品を重ねて支持しないで下さい。
- k) バッグジャッキ膨張後は、バッグジャッキに過負荷をかけないで下さい。



◎ 製品の取り扱いに関する注意

- a) 鋭く尖った物や80℃以上の高温の物にバッグジャッキが直接接触しないように注意して下さい。
また、溶接スパッタ等からバッグジャッキを保護して下さい。
バッグジャッキの破損及び不測の事態が起きる恐れがあります。
- b) 継手を付け外しする場合は、バッグジャッキに溶着されている口金を捻らないで下さい。
- c) 安全のため、作業に際しては安全メガネ、手袋、安全靴、作業服の使用を推奨します。
- d) バッグジャッキは、油や化学物質と接触しないようにして下さい。付着した場合は直ちに拭き取り、目視で異常がない事を確認して下さい。

3. 適用

- a) バッグジャッキは「マット型空気ジャッキ」と言われるもので、バッグ内に空気を充填させ構造物の押し上げ、押し上げや狭い箇所の拡幅等の作業が、無音、無振動でできます。
- b) 本機の操作は経験者または責任者の指名した人が操作をおこなって下さい。

4. 操作前の準備

- a) バッグジャッキをより効果的にご使用頂くため、出来るだけ狭い隙間にバッグジャッキを挿入して下さい。持ち上げ高さにより揚力が異なります。9項の「仕様」を参照ください。
- b) エア源からコントロールバルブを経由して、バッグジャッキに接続して下さい。
最高使用圧力は0.8 MPaです。事前に圧力調整器で調圧しておいてください。
(圧力調整弁はコントロールバルブCS1(CA2)に内蔵しています。)

詳細については別途コントロールバルブ取扱説明書を参照ください)

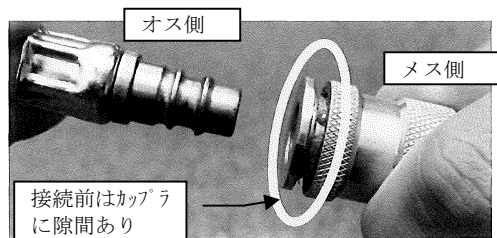
エアーは油分を含まないドライエアーをご使用ください。

- c) 接続ホースには専用のカップラが付いています。これらをコントロールバルブ及びジャッキのカップラに挿入し、カチッと音がするまで確実に接続してください。

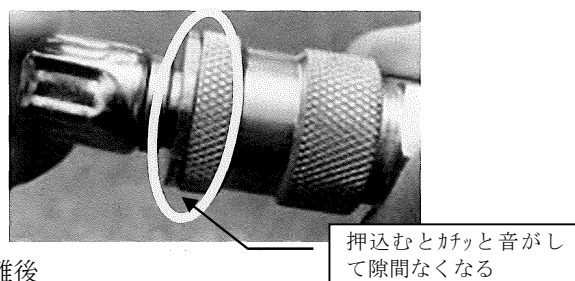
接続が確認できたら、エアー源のバルブを開けてください。

[TLB専用カップラの場合の脱着手順]…市販カップラの場合は特に説明致しません。

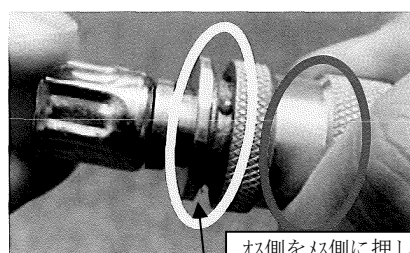
・接続前



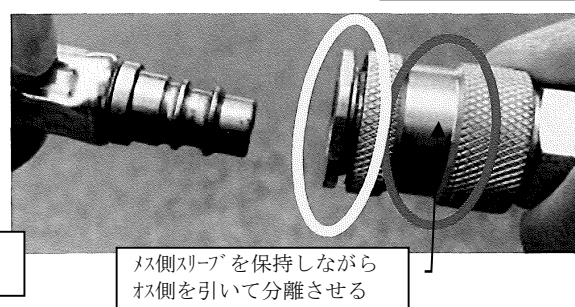
・接続後



・分離時



・分離後



5. 操作

- a) コントロールバルブは専用のコントロールバルブ (CS 1 又は CA 2) を使用して下さい。
(取扱の詳細については別途コントロールバルブ取扱説明書を参照下さい)
- b) バッグジャッキを膨らませるには、CS 1 の場合はコントロールバルブの「+」の押釦を押してください。
CA 2 の場合は操作レバーを「+」側に倒してください。
CS 1 の場合は押釦を離せばエアーが止まります。(CA 2 の場合は操作レバーから手を離してください。)
- c) バッグジャッキを縮めるには、CS 1 の場合はコントロールバルブの「-」の押釦を押して (CA 2 の場合はレバーを「-」側に倒して)、バッグジャッキからエアーを抜いてください。
- d) 使用後は、CS 1 の場合はコントロールバルブの「-」の押釦を押して (CA 2 の場合はレバーを「-」側に倒して)、バッグジャッキやホースからエアーを確実に抜いてください。
空気が残っている状態でホースを外すのは危険です。

6. 保守・点検

点検・保守はあらかじめ空気圧の残圧を排除してから行って下さい。

① 点検計画

		項 目	使用前	定期
外 観 点 検	本体、口金具	割れ、変形及び有害な損傷がないこと	○	○
	ホース及び 接続金具	外傷の有無 接続金具(特に差込部)にゴミの付着がないこと。	○	○
作 動 点 検	本体、接続金具 コントロールユニット	圧力が上がるか、又、各部からの空気漏れのないこと	○	○
	無負荷作動	荷重をかけないで、作動の状態に異常のないこと	○	○

注(1) 荷重をかけないで作動点検する場合は低圧力(0.2MPa)でゆっくりと膨張・収縮させて下さい。

(2) 本体のゴム劣化(ひび割れ)、ホース劣化と思われる場合は販売店に点検依頼されるか交換を推奨します。

7. トラブルの内容とその対策

トラブルの内容	原因	処置
バッグジャッキが膨らまない	コントロールユニットの操作方法が合っているか。(2台のジャッキをご使用の場合は該当する側を操作しているか)	コントロールバルブの「+」の押釦を押してください(又は「+」側にレバーを倒す)
	エア源からバッグジャッキに至るまでのすべての接続は間違いないか。接続金具は確実に結合されているか。	接続間違いを正し、接続金具を確実に結合させる。
	エア源が昇圧されているか(0.8MPa) エア源のストップバルブは開となっているか。	エア源の昇圧(0.8MPa)を確認しストップバルブは開とする。
バッグジャッキが縮まない	コントロールユニットの操作方法が合っているか。	コントロールバルブの「-」の押釦を押してください(又は「-」側にレバーを倒す)
バッグジャッキが持ち上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力不足 ・ジャッキ能力に比べ負荷が大きい ・エア源からバッグジャッキに至るまでのすべての接続は間違いないか。接続金具は確実に結合されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールユニットの圧力を確認して下さい。 ・能力-スロートーク線図を参照下さい。 最大扛上能力はジャッキがほぼ平らな状態で発揮されます。扛上する高さが高くなると扛上能力は低下します。 ・接続間違いを正し、接続金具を確実に結合させる。
システムから空気が漏れている	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールユニットの過圧保護機能(安全弁)が作動している ・ジャッキ本体、ホースに傷、割れ等破損、著しい変形 	<ul style="list-style-type: none"> ・エア源の圧力を確認して下さい。 ・直ちに使用を中止し、販売店に点検を依頼するか、交換して下さい。

8. 保管

- 空気圧を抜いて下さい。
- 使用後はバッグジャッキの表面にガラス等が刺さっていないか点検し、石鹼水で洗浄した後、直射日光の当たらない、清潔で乾燥した場所に保管して下さい。
保管温度は0～40℃を推奨します。
表面に有害な傷(ひび割れ)があったり、甚だしく歪んだバッグジャッキは使用しないでください。
(販売店へ点検を依頼してください)
- チリ・ゴミを避けるため、カバーを掛けてください。
- バッグジャッキはゴム製品であり「経年変化」が起こります。
経年変化の症状はゴム硬化であり、目視ではクラック(ひび割れ)発生として現れます。
最大耐用年数は10年であり、上記症状が発生した場合は販売店に点検を依頼するか、10年以内の交換を推奨致します。

9. 仕様

諸元 形式	持上能力 kN	最小厚さ mm	膨張時 最大高さ mm	寸法 mm	質量 kg	最高使用圧力 MPa
TLB-1	10	25	80	150×150×25	0.6	0.8
TLB-3	32	25	130	228×228×25	1.5	0.8
TLB-5	50	25	150	270×270×25	2	0.8
TLB-10	100	25	215	380×380×25	4	0.8
TLB-20	200	25	290	508×508×25	7	0.8
TLB-32	320	25	380	658×658×25	13	0.8
TLB-40	400	25	405	708×708×25	15	0.8
TLB-67	670	25	520	908×908×25	24	0.8

